

ルリトラノオ	<i>Veronica subsessilis</i> (Miq.) Carrière	情報不足
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		ゴマノハグサ科
選定理由	環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧種に移行し得る要素を有しているが、生育状況等の情報が十分得られていない。	写真(高橋弘) 
形態の特徴	茎は直立して高さ1mほどになる多年草。葉はほとんど無柄で、広卵形～卵形で先は尖る。花期は7-8月。茎頂の長い穂状花序に、濃青紫色で長さ約6mmの花を多数つける。	
生態的特徴	草原にはえる。	
分布状況	伊吹山の頂上付近に生育するとされるが、県内では県南の中部(1963年)での標本が得られている。しかし、その他の情報が不足している。	
減少要因	本種の分布域は情報不足のためはっきりしないが、もともと生育個体数も少ない。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定することのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良